

新生児マススクリーニングに係る検討会における報告

<経緯>

令和2年度周産期医療協議会（R3.2.22）において、
徳島大学小児科小谷裕美子医師（徳島県マススクリーニング中核医師）より
「新生児マススクリーニングにおける「説明・同意書の記載内容の標準化」」
について議題提案あり。 ※参考資料1

議案協議のため、新生児マススクリーニングに係る検討会（R3.3.19）を開
催したので、協議内容について本協議会にてお諮りさせていただきたい。

（参加者：苛原稔氏、田山正伸氏、春名充氏、中川竜二氏、小谷裕美子氏、健康づくり課）

<本県の新生児マススクリーニング検査状況>

年間検査件数：5175件（再検査121件含む）令和2年度：陽性7件

委託契約：一般財団法人 大阪市環境保健協会

契約内容：厚生労働省対象疾病20疾患について検査

1検体の検査費用契約・1年間保存

再検査又は精密検査にかかる結果の速やかな通知等

< R3.3.19 検討会の協議結果 >

○追跡調査について

- ・1年間の保存期間を超えて、追跡調査をすることに関しては、
検体保存にかかる場所や費用に加え、遺伝を含む研究内容など倫理的な
内容をはじめ、様々な課題がある
→全国の動向を注視し、追跡調査については継続して検討する
- ・県内のスクリーニング結果の報告がある場合は、
周産期医療協議会にて報告することとする

○検体保存について

- ・現在の「検査依頼書」は1年間の検体保存に関する
同意の文言がないため「検査同意書」に変更し追加が必要

<本日ご確認・ご協議いただきたい内容>

- (1) 上記協議結果に関するご意見について
- (2) 先天性代謝異常等検査申込書兼同意書（案）について

<情報提供> 自治体の枠を越えた新生児マススクリーニングの標準化・効率化に関する研究